

令和5年度（令和6年4月入学生向け）

東京学芸大学教職大学院 現職教員のためのパンフレット

— 現職教員が学びやすい教職大学院をめざして —

めざす教員像

学校における豊かな教育経験に裏付けられた専門的知識と実践力、現代的な教育課題に対して強い解決への意欲を有する現職教員で、

- ◆ 高度な実践的指導力を備えたスクールリーダー
- ◆ 教育実践に携わる研究者や大学教員

教員にとって魅力あるカリキュラム



働きながら学べる教職大学院

東京学芸大学教職大学院（大学院教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）

「教員にとって魅力あるカリキュラム」への挑戦！

1

教員のニーズに対応した総合型プログラムを備えています

定員210名の全国最大規模の総合型教職大学院です。

学校の多様なニーズに対応するため5つのプログラム・17のサブプログラムを揃えています。

- ◆ 学校組織マネジメントプログラム
- ◆ 総合教育実践プログラム
- ◆ 教科領域指導プログラム（国、社、数、理、音、美、書、体、技、家、英、情、幼、養）
- ◆ 特別支援教育高度化プログラム
- ◆ 教育プロジェクトプログラム（学校教育課題、国際理解・外国人児童生徒教育、環境教育）

2

実習8単位が免除され、より自由に学べます

5年以上の実務経験を有する現職教員は、実習10単位のうち8単位を免除します。ワークショップ、研究会など、現職教員のニーズに合った実習となるよう工夫しています。

3

学術論文の執筆ができます（高度研究プログラム）

本学教職大学院では学術論文の執筆ができます。教育研究活動をリードできる資質を育成します。また、博士課程（後期）への進学に対応できますので、将来、研究者や大学教員になることを考えている方にも適しています。

4

Society5.0に備えた先進的な研究成果に触れることができます

本学修士課程の次世代日本型教育システム研究開発専攻、教育支援協働実践開発専攻（教育AIプログラム）では先進的な研究を、本学の教育インキュベーションセンターでは民間と連携した研究開発を行っています。教職大学院で学びながら、それらの先進的成果に触れることもできます。

東京学芸大学教職大学院（大学院教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）

「働きながら学べる教職大学院」への挑戦！

現職教員のための1年履修プログラムがあります

実習8単位免除の対象となった現職教員は、現場を離れてフルタイムで修学する場合に希望すれば1年で修了することができます。

2年次に現任校で勤務しながら履修できる制度があります

大学院設置基準第14条の特例（現職教員の教育方法等の特例）を活用し、1年次はフルタイムで修学し、2年次は在籍校で勤務をしながら夜間等を中心に指導をうける制度を設けました。

長期履修制度があります。授業を夜間・夏季休業中に開講します

現職教員等が働きながら無理なく長期計画を立てて学ぶことができるよう4年を上限に在籍できる長期履修制度があります（授業料は2年分）。また、働きながら修学できるよう授業の一部を夜間、夏季休業中に開講します。

夜間や遠隔授業で受講しやすくなりました

6時限目は18：30～20：10に、7時限目を20：20～22：00に開講しており、さらに一部授業において遠隔授業を導入するなど、現職教員が仕事を終えてから夜間の授業に参加しやすい授業設定です。

遠方から現職教員は、宿舎の利用が可能です

通学できない遠方からの現職派遣教員等については、大学近くに立地する宿舎（ハイム学芸）が利用できます。詳細は教職大学院係に問い合わせください。

東京学芸大学教職大学院（大学院教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）

東京学芸大学教職大学院履修登録プログラム

- ◆ 現職教員のキャリアにおける教員研修等の学びと、教職大学院の開設授業科目を連関させ、現職教員が教職大学院の単位を修得し、教員研修等の学修成果を蓄積することにより、現職教員の資質の向上に資することを目的とした「東京学芸大学教職大学院履修登録プログラム」を実施しています。
- ◆ 本学教職大学院が指定した授業科目（専攻科目5科目、夏季集中（3日間）オンライン形式）を、教育委員会が現職教員研修における研修科目として指定した場合において、**現職教員が研修として当該研修科目を受講することにより、教職大学院の授業科目を履修でき、単位の認定がなされます。**

開設科目名 各2単位	領域
カリキュラムデザイン	教育課程の編成・実施
授業実践研究	教科等の実践的な指導方法
子ども理解と支援	生徒指導、教育相談
教員のための学校組織マネジメント	学級経営、学校経営
教員の社会的役割とキャリア形成	学校教育と教員の在り方

- ◆ 修得した単位は、将来、東京学芸大学教職大学院へ入学した際に**既修得単位認定を行うことができ、専修免許状の申請にも活用できます。**
- ◆ 科目等履修生としての受講となりますが、本プログラムにおいては**入学金や授業料等の費用はかかりません。**

※令和5年4月現在、東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会と連携しています。履修登録プログラムを受講できる方は、上記3つの教育委員会の推薦を受けた現職教員の方のみです。

東京学芸大学教職大学院（大学院教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）

特別プログラム～本学教職大学院の特色あるプログラム～

国際バカロレア教員養成特別プログラム

本学教職大学院は、我が国で唯一、教職大学院に国際バカロレア認定校の教員養成プログラムを開設しています。定員があるため、成績等によって履修制限が設けられることがあります。国際バカロレア教員養成特別プログラムの履修を目的として教育委員会等から派遣された教員は、優先的に履修することができます。

※取得できるIB教員認定の登録資格：MYP（中等教育プログラム）、DP（ディプロマ資格プログラム）

高度研究プログラム

実践研究をリードする教員として期待される高度な研究能力を育成するとともに、博士課程への進学を希望する者が、学術論文を作成できるようにするために設けたプログラムです。希望者が学術論文の指導を受け、審査を受けられます。

道德教育に関する科目開設

道德の教科化を踏まえ、学校における新しい道德教育ニーズに対応するために、道德教育の理論を学ぶとともに、実践的指導力を育成するために、道德教育のための科目群（3科目）を高度選択科目として開設します。

【問い合わせ先】東京学芸大学 大学院課 教職大学院係
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL：042-329-7707 FAX：042-329-7708
E-mail：kyoushi@u-gakugei.ac.jp

東京学芸大学教職大学院（大学院教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）

令和6年度入試日程

A日程

- 【出願期間】（インターネット出願登録期間）
令和5年 8月25日（金）～9月1日（金）
（出願書類提出期限）
令和5年 9月 4日（月）
- 【試験期日】 令和5年10月21日（土）・22日（日）（予備日）
- 【合格発表】 令和5年11月 6日（月）
- 【入学手続】 令和5年11月21日（火）

B日程（派遣教員選抜のみ）

- 【出願期間】（インターネット出願登録期間）
令和6年 1月17日（水）～24日（水）
（出願書類提出期限）
令和6年 1月25日（木）
- 【試験期日】 令和6年 2月17日（土）
- 【合格発表】 令和6年 3月 7日（木）
- 【入学手続】 令和6年 3月18日（月）

詳細は、大学ホームページ「修士課程・教職大学院入試情報サイト」
（<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/index.html>）を確認してください。

東京学芸大学教職大学院（大学院教育学研究科 教育実践専門職高度化専攻）